

湘南日独協会 会報
Der Wind
(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)
VOL. 15. NO. 3. 通巻88. 発行 2013. 5. 12

湘南日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan
事務局: 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-1-1
江ノ電第2ビル7F
TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

創立15周年記念講演会開催



湘南日独協会創立15周年記念特別講演会が岩崎英二郎
名誉会長(初代会長)(写真)を講師に迎えて、3月24日湘
南アカデミアで開催され40名を超える皆さまが出席されま
した。

先生は「二種類の即席造語—生きたドイツ語の面白さ—」
を演題に1時間余の講演、出席者との質疑その後会場を移し
ての懇親会へも参加され会員と親しく懇親されました。

講演会の内容は、当湘南日独協会ドイツ語講座の講師で
もあります、松野理事副会長ご寄稿「岩崎英二郎先生のご講
演を拝聴して」を(次頁掲載)をお読み下さい。

記念行事 2題

I アムゼル10周年記念コンサート

湘南日独協会創立15周年記念、合唱団アムゼル10
周年記念コンサートが5月19日鎌倉芸術館で開催され
ます。第86回例会も兼ねております。詳細は行事予定
をご参照下さい。

II 東部ドイツ・世界遺産を訪ねる旅

5月21日(実質的には22日)出発31日帰国のスケ
ジュールで総勢26名の参加です。合唱団アムゼルの団
員が8名参加し、ワイマール、ハンブルグ等の交流会で
歌声を披露する予定です。

なお、帰国報告会の開催を予定しております。

新入会員紹介

寺田 明 新田 健一 奥山 富夫
人見 九二男 藤野 満

敬称略

湘南日独協会の活動予定

■第86回例会

湘南日独協会創立15周年記念、合唱団アムゼル10周
年記念コンサート

日時 5月19日(日) 14:00(開場13:30)

会場 鎌倉芸術館小ホール

チケット 1,000円(全席自由)

ドイツの童謡・歌曲からオペレッタまでの10年間の集
大成、賛助出演に梶井龍太郎先生を迎えてのコンサ
ート。

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第7回

これまでの歌の中から好きな歌を歌いましょう

日時 5月26日(日) 15:00~16:30

会場 江ノ電第2ビル4F 湘南アカデミア

会費 1,000円

申込み、問合せ: 木原

Tel: 0466-28-9150 E-mail: jdgs@jcom.home.ne.jp

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第8回

テーマ「Liebe =愛=」

日時 6月23日(日) 15:00~16:30

詳細は上記と同じ

■第88回例会 講演会

「文化都市ベルリンの魅力」

講師 寺田 雄介氏 会員 理事

2年間のベルリン留学を終えて昨年帰国された若きドイ
ツ文学研究者が、今やEUの希望の星であるドイツの首
都ベルリンの魅力を大いに語ります。

日時 6月30日(日) 15:30~17:00

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 1,000円

講演会終了後懇親会(別料金)を予定しています。

■東部ドイツ旅行報告会

日時 7月28日(日) 18:00~18:45

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 無料 終了後懇親会(別料金)を予定しています



湘南オクトーバーフェスト

10月4日(金) 18:30~

詳細は4頁

3月例会

岩崎英二郎先生のご講演を拝聴して

会員 松野 義明

2013年3月24日、湘南日独協会創立15周年記念事業の一環として行われた当協会初代会長 岩崎英二郎先生のご講演を拝聴した。演題は「即席造語(Augenblicksbildung)の二つの型」で、多少なりともドイツ語に係わったことがある人たちにとっては、大変興味深いお話であったと思う。

ドイツ語の言葉の語尾に、-ei / -[e]lei / -[e]reiをつけたり、語頭にGe-をつけたりすることによって即席の名詞を作ることができる。そしてその名詞は、元の言葉の意味に何かしらネガティブな意味が付きまとう傾向がある、という指摘である。その事実を明らかにするため、先生は、前者について32、後者について16の実例を示された。それらの実例には日本語訳もついているので、上記接尾語や接頭語の微妙なニュアンスをはっきりと認識することができた。短時間に先生が淡々と話された内容はまさにエッセンスで、その背後には、17世紀から現代までのおそらく数百人の広範な作家の作品の精査という作業から得られた膨大なデータベースが先生の頭の中に蓄積されているに違いないと私は想像している。過去に多くの方が出版している日本語訳についても先生はご自身のデータベースに基づいてコメントなさったが、極めて説得力のあるものだった。改めて翻訳の難しさを認識すると同時に、先生の不断のご努力と語学研究者としての計り知れない強靱な情熱をひしひしと感じないわけにはいかなかった。

人間が自分の感じた情緒の機微を表現するとき、あまたある言葉の中から適切な言葉を選択しなければならないが、選択した言葉が表現したい内容にピッタリと合わない場合には、その言葉に何かちょっとしたものを付け加えてピッタリとした表現にしたいくなる(ド下手、ドけち、ドぎつい、などの「ド」や馬鹿メ、こいつメ、などの「メ」もそうかもしれない)。語尾の-ei / -[e]lei / -[e]reiや語頭のGe-はそんな人間の表現欲から自然発生したものではないだろうか、と語学研究にはズブの素人である私は先生のお話を伺いながら考えていた。

私自身のささやかな体験をお話ししよう。昔、ドイツ人の友人と一緒にある日独共同研究の予算申請書を作っているとき、申請書の書式が無意味にややこしいので、彼が“Solche Schreiberei macht mich immer so nervös!”(毎回つまらんことを書かせやがって、全くイライラするなあ!)とボヤいていたのを思い出す。口の中でSchreiberei, Schreibereiと繰り返していると、本当に「お役所提出用のシチ面倒臭い書類作り」という気分になってくるから不思議である。また、ある日、やはり研究仲間と手分けして複雑な数値計算を電動計算機でやっていた時(当時は電子計算機がまだ自由に使えなかった!）、友人が“Schweinerei! Schon wieder falsch!”(畜生! また、間違えちゃった!)と少々お下品な叫び声をあげていたのを思い出す。これはきっと自分のドジに対する自責の叫びだったのだろう。

蛇足であるが、先生はご講演の冒頭に、「私は長い間学生の前で話をしてきたので、大勢の前で話すことに慣れているとお思いでしょうが、実はとても恥ずかしいのです。」とおっしゃった。この「恥ずかしい」をピッタリと表現するドイツ語があるだろうか。浅学の私には思いつかない。ことほど左様に、情緒の機微を表現する仕方には民族的な差異もあるようだ。

ともあれ、先生の膨大なご研究成果の一端に触れることができたこと、しかも、自分で思っているだけかもしれないが、理解できたことに大きな喜びを感じるのである。



(講演会場)

独検 Diplom Deutsch in Japan

ドイツ語技能検定試験のお知らせです

試験日程 独検2013春 6月23日(日)

願書受付 4月1日～5月17日(金) 消印有効

試験日程 独検2013秋 11月23日(祝)

願書受付 9月1日～10月11日(金) 消印有効

公益財団法人ドイツ語学文学振興会独検事務局

http://www.dokken.or.jp

〒113-0033 東京都文京区

本郷5-29-12-1006

電話 (03) 3813-0596

小さな国際交流・ホームステイ

～ホストファミリーになろう!～

2013年8月28日(水) 鎌倉芸術館においてアジアユースオーケストラの「東日本大震災就学支援チャリティコンサート」が開催され、アジアからの若者のホームステイ先を募っています。

期間は8月27日～29日(2泊3日)です。

問合せ: 鎌倉ユネスコ協会

アジアユースオーケストラ担当

080-9443-2926

宮下先生の思い出

会員 伊藤志津子

「故 宮下啓三先生を偲ぶ会」という案内板がワインバーの入口にかけられました。藤沢駅近くのその店は宮下先生がよく行かれた場所です。

4月22日の午後、宮下秋子様（先生の奥様）はじめたくさんの方々のご出席をいただき、寺田雄介理事の司会進行のもとワイン片手に会は3時間半も続いたのです。

秋子様がお持ちくださった10枚ほどのスナップ写真、お孫さんをベビーカーで押している一枚は先生のおじい様としての一面が温かく感じられて印象的でした。さらに一枚選びます。それは宮下先生と岩崎先生が並んでいるビーチでの一枚。若い若いお二人はカッコ良くて、海の王子様かプレイボーイか！とさまざまな声がありました。

「僕は女性だけの集まる講演会にしてくださいと主催者をお願いしておいたのですが、やはり男性がいました」と終えられたばかりのある講演会について先生はさりげなく言いました。私には冗談とも本気ともわからないことでした。

そして2011年の年末、湘南日独協会での講演会（これが先生の最後になってしまったのです）の準備の段階でのことでした。「伊藤さん、女性だけの会にしましょう」とおっしゃいました。冗談？本気？そのココロは？もっとお聞きすればよかったのですが・・・。

理由はともかく、「女性だけ」の会にして先生を驚かせよう！と私は一度は本気で考えました。ですが、実現は難しいとわかりました。

偲ぶ会での感想はあえて女性だけを選ばせていただきたいと思います。

佐合千佳子さん：宮下先生と飲みに行ったことを思い出します。残念なのは、実現しなかった三人きりの飲み会！

森長京子さん：宮下先生が描いてくださった似顔絵を持ってまいりました。「森長さん、ふっくらです」と先生がっしやって、いらい「ふっくら」という表現を愛用しています。

田口迪子さん：宮下先生のお名前を誤字でPCデータに入れたまま年賀状を差上げていました。先生に「啓三です」と言われて、慌ててデータを書き直しました。それなのに正しい漢字の年賀状をお出しできないままになってしまいました・・・

水谷妙子さん：宮下先生の「似顔絵描き」のご参加で長谷大仏の国際交流フェスティバルがとても充実したものになりました。

宮原シヅさん：宮下先生の懇話会や講演会にはいつも参加していました。

三宅芳子さん：宮下先生とは以前からいろいろなことをお話ししました。珍しいものを見つけては持ってきて下さいました。

大澤由美子さん：宮下先生がさりげなくおっしゃられる一言が素敵でした。

先生、あの場においでになったら、どのような顔をされたでしょう。



左の写真は森長さんが宮下先生に描いて頂いた似顔絵をお持ちになりました



左の写真は岩崎、宮下両先生の若き日の歴史的な1頁



3 頁よりの続き



4 月懇話会

「タベア・カウフさんのお話」を伺って

会員 佐合 千佳子



タベアさん

ベルリン生まれベルリン育ちのタベア・カウフさんは、26 歳のとても流暢な日本語を話せるチャーミングなドイツ人女性です。4 月の懇話会で「日本滞在 3 年・・・ドイツ女性から見た日本」という題のお話を伺いました。

フンボルト大学で日本語を学び、その間に 1 年間東海大学に留学の経験をされ大学卒業後、最近まで湘南（平塚）にお住まいだったそうです。現在は日独協会東京に勤務され、若い人との交流会を中心に活動をされています。

日本人から受ける質問で「日本語大丈夫ですか？」とよく言われるそうですが・・・タベアさんは子供の頃、まんが（アニメ）が大好きでテレビでアニメをよく観ていたそうです。そのアニメが日本からドイツに入ってきた文化である事を知ってから、日本に興味を持つ様になったそうです。彼女の吸収力（語学力）はすばらしく、日本語能力試験は 1 級。最近は電話の相手に日本人と間違われる事もしばしばあるそうです。

「日本の何処が好き？」という質問には、「日本の全部が好き、レストランで食事をする時などバックを無造作に置いていても安心、安全。そして日本人はやさしいところ。」だそうです。

「日本人男性についてどう思いますか？」については、「自分の彼は日本人です。ドイツ人だから、日本人だからとは思ってなく、個々の人間性に魅力があるかどうかが重要。でも、ドイツ国内で全くモテナイドイツ人男性が日本に来ると、急に日本人女性にモデルようになるのが不思議。」との事。

「日本に来てビックリ！」は、日本茶がすごく苦かった事。納豆は食べられるようになったけど、あの酸っぱい梅干しだけは未だ好きになれないそうです。

日本の海も山も大好きと言うタベアさんのお話は、会員のおじ様方の冗談も飛び交いおおいに盛り上がり、とても楽しい懇話会となりました。



湘南オクトーバーフェスト

日時 10月4日（金） 18:30～

会場 グランドホテル湘南

例年の様な内容で準備中です、予定表に書き込んで下さい。今年も楽しみましょう！

お願い： 例会懇話会へ参加頂き有難うございます。

最近参加の通知を頂きながらご欠席となられる方がおられます。変更される場合はお知らせ下さるようお願い申し上げます。

編集後記

○今回試みとしてカラーに致しました。今秋には 15 周年特集号の計画がありますのでそのテストでもあります。皆さまのご感想をお聞かせ下さい。

○独検やホームステイのお知らせも掲載しております。ドイツ語講座の受講生、国際交流にご関心のある方々にお役に立てればと考えております。

○アムゼル・コンサートにドイツ旅行参加に多忙にしています。（大久保）

★★湘南日独協会のホームページ★★

<http://jdg-schonon.ciao.jp/>

「全国日独協会一覧」からもアクセス出来ます